

## 静岡県地域外交展開

国・地域名	地域外交基本方針の中長期的視点	平成 25 年度の評価	平成 26 年度の方針
中国	30年にわたる浙江省との友好関係を軸とする交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「静岡県－浙江省フォーラム」を初開催し、両県省民の関心を喚起し、地域間交流の深化を図った。</li> <li>・湖北省で民間外交支援事業を実施し、民間交流の拡大を着実に図ることで、新たな交流の端緒をつかみ、交流人口拡大、観光誘客等に繋がった。</li> <li>・研修生の受入れや訪問団の相互派遣等、積極的な人的交流が行われ、相互理解を一層促進することができた。</li> <li>・「日中青年代表交流」、学校間交流（千校結好）の推進等により、若い世代の相互理解が深まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「静岡県－浙江省フォーラム」の浙江省での開催や、湖北省への本県訪問団派遣により、相互の信頼関係の更なる強化と実質的な交流の促進を目指す。</li> <li>・湖北省での民間外交支援事業や、浙江省選手団を招いた「静岡県・浙江省友好交流卓球大会」の開催を通じて、両県省民の交流機会を創出し、民間を主体とする交流を着実に拡大していく。</li> <li>・県産品の販売促進、経済分野の会議開催、農業訪問団相互派遣等により、経済交流を一層促進する。</li> </ul>
韓国	民間主体の交流促進と定期便就航の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忠清南道と友好協定を締結し、幅広い分野での関係強化に合意した。</li> <li>・忠清南道と済州特別自治道で民間外交支援事業を実施し、民間を主体とする交流人口の拡大を図った。</li> <li>・観光誘客の取組により本県PRに努めたほか、大学留学フェアへの参加等により民間交流の拡大を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忠清南道、釜山広域市等での民間外交支援事業を通じ、民間を主体とした交流の拡大を進める。</li> <li>・忠清南道との防災協定締結を視野に、防災面での協力関係の強化を図る。</li> </ul>
モンゴル	将来的な友好関係の基盤となる人材交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドルノゴビ県との友好協定締結2周年を記念して県民交流団を派遣し、経済、青少年、医療等、幅広い分野での人的交流が進展した。</li> <li>・技術協力及び経済・文化交流の結果、本県の存在感が向上してきている。</li> <li>・伝統楽器による公演、管弦楽団演奏会の開催、パネル展の開催等、モンゴル文化を紹介する取組を進め、県民の理解促進を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドルノゴビ県との友好協定締結3周年を記念し、ドルノゴビ県訪問団を迎えて記念式典等を実施するほか、本県からもドルノゴビ県を訪問し、更なる相互理解の促進や交流の拡大を図る。</li> <li>・工業・農牧業省との覚書調印により工業・農業分野の交流促進を図る。</li> <li>・高校生の受入等を行い、将来に繋がる人的交流を進める。</li> </ul>
台湾	観光誘客と民間交流の促進による交流人口の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台北市に県駐在員事務所を開設し、観光誘客の取組や、民間交流の推進、青少年スポーツ交流の促進等、多分野における活動を実施した。</li> <li>・「富士山・玉山 友好山提携」により文化、産業等の交流拡大が図られた。</li> <li>・本県と台湾6市県との「防災に関する相互応援協定」の締結により、防災分野の交流拡大が進んだ。</li> <li>・引き続き定期便のデイリー化に向けた相互交流促進の取組が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県駐在員事務所を拠点とし、年間を通じて台湾全土に本県の魅力を発信していく。</li> <li>・市町、民間と連携して観光、青少年・文化交流を促進し、交流人口拡大のほか、県内企業の進出や県産品の販路拡大等の経済分野における交流の活発化を引続き図っていく。</li> <li>・民間外交支援事業を実施し、民間を主体とする交流の拡大を図る。</li> </ul>
東南アジア	経済活力の取込と航空路線の就航促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東南アジア駐在員事務所の県単独化により、経済分野の支援に加え、富士山静岡空港を利用した観光誘客や文化・教育分野での交流促進等、取り組む分野を広げた活動が進んでいる。</li> <li>・シンガポール及びカンボジアで、産業・観光、自然の魅力等、本県の優位性や潜在力をPRし、現地における本県の認知度向上を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東南アジア駐在員を1名増員して現地での活動体制を強化し、引き続き、経済、観光、教育、文化等、幅広い交流を通じて東南アジアの成長力の取込みを図る。</li> <li>・タイ等への本県訪問団の派遣により現地ネットワークの強化を図る。</li> <li>・タイ観光連絡員の設置により、観光誘客の強化を図る。</li> </ul>
米国	地域レベルの連携強化と学術・産業交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災分野における在日米軍との交流の取組やハワイ州とのクリーンエネルギー分野の交流の取組等、これまでの実績を踏まえた交流を着実に推進することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・クリーンエネルギー分野等、これまでの交流の更なる充実化を図る。</li> <li>・日米カウンシル知事会議に参加し、シリコンバレー企業と県内企業とのネットワークの構築等、産業交流の促進を図る。</li> </ul>

### 【平成 26 年度の全体方針】

- ・市町、民間団体との連携による文化、教育、防災、医療、スポーツなど幅広い分野での交流人口の拡大。
- ・企業の海外展開、県産品の販路拡大、エネルギー分野を含む経済交流の促進。
- ・青少年交流や技術研修員の受入れなど、将来の交流を担う人材育成。

### 【26 年度の重点項目】

- ・海外進出、販路拡大の機会創出による経済交流の活発化。
- ・世界遺産富士山を活用した観光誘客。

